

11月17日 (火)

良い羊飼

聖書朗読 ヨハネ10:11~18

わたしは良い牧者です。良い牧者は羊たちのためにいのちを捨てます。

ヨハネ10:11

「羊飼」という言葉を聞くと何を思い浮かべますか。緑色の牧草地や水飲み場に羊を連れて行く情景でしょうか。群れから迷い出た羊を優しくつついて群れに導く様子でしょうか。暖かで安心できる腕に怪我した羊を抱き抱える様子でしょうか。こういう描写は実際に羊飼いがしていることですが、羊飼いの仕事の全てではありません。

Iサムエル記17章34節から35節の羊飼いのダビデは私たちが予想した羊飼いの仕事とはかなり違う働きをしています。「獅子や熊が来て、群れの羊を取って行く、・・・そのひげをつかんで、打ち殺しています。」ダビデは羊飼いの別の面を教えてくださいました。ダビデは、何に対しても迅速に攻撃的手段をとる準備が整っていました。彼の群れを脅かすものがあるならば、相手が人間であっても動物であっても立ち向かいました。

本日の聖書朗読で、イエス様は同じように彼自身を神の民の羊飼いと表現しました。問題が起こるとすぐに逃げてしまう雇われ人のようにではなく、イエス様はご自分の羊たちのためにそこに留まるだけでなく、ご自分の身を挺するまでに守ってくださいます。私たちは今日神様の羊として神様の声を聞き従うことで感謝してそれに応えようではありませんか。

讃美歌 II 23

祈り 主よ。私たちのために命の犠牲を払い、私たちを愛し真の価値を認めてください。弟子にしてください。感謝いたします。良い羊飼いであられるキリスト様のお名前でお祈りいたします。アーメン。

イアン・ノックス

テキサス州 グランベリー

11月18日 (水)

全世界が彼のあとを追う

聖書朗読 ヨハネ12:12~19

次のように書かれています。「全てのひざは、わたしの前にひざまづき、すべての舌は、神をほめたたえる。」

ローマ14:11

私たちと同じように、イエス様にもいい日と悪い日がありました。彼を支持する人もいましたし、中傷する人もいました。聖書には、サドカイ派たちがイエス様を陥れようとしたり、逮捕する口実を見つけようとする例が多く書かれています。それでは、なぜイエス様がエルサレムにお入りになる時、民衆は「祝福あれ、主の御名によって来られる方に。イスラエルの王に。」(ヨハネ12:13) 彼らは生まれつき目の見えない人をイエス様が癒すのを見たことがあるのでしょうか。彼らは山上の垂訓を聞いたことがあるのでしょうか。ラザロを墓からよみがえらせた不思議な技を見たことがあったのでしょうか。

民衆がイエス様をあがめる理由は様々だったことでしょう。しかし、彼らは数日後に「十字架につけろ！十字架につけろ！」と叫んでいたのです。弟子たちのほとんどは逃げてしまい、一人はイエス様を知らないと言いました。民衆は彼を嘲り、「あれは他人を救った。もし神のキリストで、選ばれた者なら、自分を救ってみろ。」(ルカ23:35)

彼は、今までも今もこれからも永遠に神のキリストです。いつの日か、全ての膝がキリスト様にひざまづき、すべての舌が彼が神であると告白するのです。

讃美歌 269

祈り あなた様が何者か、何をしてくださったのかをまだそのチャンスがあるうちに知ることができませんように。間に合わないでしまったということがありませんように。

イエス様を通して祈ります。アーメン。

ケイ・バーナム・イヴァンス

テキサス州 ラボック

11月19日（木）

心配しないで、信頼して

聖書朗読 ヨハネ14：1～4

心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りにたよるな。 箴言3：5

わたしは昔から心配性です。初めての人に会う、新しい環境、新しい経験の全てがストレスで不安になってしまうのです。子どもの頃母親は私と一緒にスーパーマーケットに入る前に、もし誰かがわたしに話しかけてきた時にはこう答えればよいのよと言ってから、スーパーに入ったほどでした。人が運転する型の芝刈り機も、私が一人でできる自信がつくまで父親と一緒に座ってくれました。

私の気持ちを和らげるためには、「心配しないで、私を信頼して。」と言うのが効果的であると両親はだんだんわかってきました。その言葉には何か気持ちを和らげるものがありました。私は良心を信じることにし、それによって大きな変化がもたらされました。

これは、ヨハネ14章1節から4節ととてもよく似ています。イエス様はおっしゃいました。「心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」。弟子たちはイエス様がおっしゃる不思議なことを理解するのに悩みました。彼らは不安で心配でした。あなたは、心配する弟子たちをとがめられますか。

私たちがいろんなことを理解するのに悩みます。私たちはイエス様が再び来られる日を心配しながら待っています。イエス様はそれをご存知です。弟子たちにおっしゃったように私たちにも「心配しないで、私を信頼して。」とおっしゃってください。私たちが神様に信頼するとき、大きな変化が起こります。

讃美歌 424

祈り 私たちの信じる天のお父様。信じることのできない私たちを助けてください。頭で信じるように、心と行動でも信じることを教えてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アンドリュー・ヒックス
テネシー州 メンフィス

11月20日（金）

平和はあなたのもの！

聖書朗読 ヨハネ14：15～31

わたしはあなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を残します。 ヨハネ14：27

数年前 100人ほどの女性のクラスで、今聖霊はどこにいますかという質問をしました。驚いたことに「このクラスと私の中にいます」と答えたのはたった一人でした。他の人たちは、聖霊は教会にいるものと思っていたようです。それはそうなのですが、個人的に常時聖霊とつながっているとは考えていませんでした。

イエス様の平和の約束をしっかり受け止めていないと、生きていくことは難しいものです。私たちが弱さを感じ失望する時、または、国の出来事やメディアや他の人たちが私たちを恐れさせる時、慰めを与えて下さるのは神の霊だけです。私たちが物事を解決することができません。

しかし、全てを支配なさっているイエス様の約束を信じることでそれが可能になります。何か困難に出会ったとき、その問題を解決できないと諦めて恐れてしまわないで下さい。神様に信頼するという最大のチャレンジを試みましょう。イエス様はあなたに助け主である聖霊をお与え下さり、平安を下さいました。それをしっかり覚えていて下さい。

讃美歌 520

祈り 愛なる神様。あなた様のひとり子と聖霊によっていただける平和をありがとうございます。平和に満ちた王の子どもとして日々生きていくことができますように。

イエス様のお名前です。アーメン。

M・バスキン
テキサス州 サンアントニオ

11月21日(土)

平和のあるところ

聖書朗読 ヨハネ 14:27~31

「平安があなたがたにあるように。」 ヨハネ20:19、21、26

平和とは全く相容れない環境に置かれている時に、深い平和を感じたことがありますか。どのようにそれは起こりましたか。それはどこに由来したのでしょうか。どうしたら再現できるでしょうか。知りたいものです。

私たちは本当に理性的な生き物です。勘違いしないでいただきたいのですが、私は理性的に考えられる能力をありがたいと思っています。しかし、理性を超えた何かが存在します。キリストにある平和もその一つです。

私たち誰もが心から望む真の平和は、理解すべき概念ではなく楽しむべき存在なのです。私たちはそれに気がついていないかもしれませんが、キリストにある平和は常時存在するのです。トーマス・マートンはこう書いています。「神の存在は、あなたに対する考え方に左右されない。神はいかなる時にも存在する。もし神が存在しなければ、あなたは存在し得ない。」

イエス様は復活された後、幾人かの特に親しい友人に姿を現されました。多くの者たちは理解に苦しみ恐れしました。そんな彼らにイエス様は「平安があなたがたにあるように。」と挨拶されました。イエス様は彼らとともにいらっしゃいました。イエス様がいらっしゃる所にはいつでも平和があったのです。

讃美歌 516

祈り 聖霊様。あなたの働きを見せてください。そうすることで、真の平和を体験し楽しむことができるからです。

イエス様のお名前によって。アーメン。

チャック・ブライアント
テキサス州 ラボック

11月22日(日)

何が神様を喜ばすことができますか

聖書朗読 ルカ15:1~10

ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい。

ルカ10:20

最近 地方テレビ局のニュースキャスターが、妻の結婚指輪を失くした人の話をしました。彼の妻が2ヶ月前亡くなってから、彼は自分の小指にその指輪をはめていたそうです。二人は48年間、夫妻として、親友として、旅行の相手として暮らしてきました。妻を亡くしたその男性は彼女を亡くした痛みを和らげるためにその指輪をはめていました。

その彼は、近頃カリブ海に浮かぶボネール島に旅行に行きました。ダイビングをやる前にはその指輪は彼の指にありました。その日海は荒れていました。彼はホテルの自分の部屋に戻った時、指輪がないことに気がつきました。彼は浜辺に5回探しに行きました。彼は他のダイバーにも指輪の話をし、見つけた人に賞金を出すと言いました。しかし、指輪が見つからないまま家に戻ることになってしまいました。彼は落胆し、まるでもう一度妻を失ったような気持ちになりました。

信じがたいことですが、2週間後に彼はダイバーが海で指輪を見つけたという連絡を受けました。その指輪が彼が失くした指輪であったと判明した時、彼は喜びの涙を流しました！

ルカ15章1から10節でイエス様は、いなくなった羊を見つけた喜びや失くした銀貨を見つけた女の人のよろこびは、一人の人が神様のもとに来るときの天の喜びと似ていると述べています。これほど深く、天のお父様は私たちと一緒にいたいなんて信じられますか。

讃美歌 II183

祈り 私たちの天のお父様。私たちの救い主イエス・キリスト様によって神様のもとに連れて行ってくださり感謝いたします。あなた様がどれほどあなたの近くにいることをお喜びになるかを理解できるように助けてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ロバート・P・リー
コロラド州 オーロラ